



# さとやま

## 今月の見どころ

## 夏本番へ



サンカクイ

7月、長かった梅雨が明ける頃、里は夏の生き物たちが姿を現します。

ハナショウブが終わった菖蒲池では、葉がなく、茎の上に茶色い穂が付く奇妙な植物が目立ちます。サンカクイというカヤツリグサ科の植物で、イグサに似て茎の断面が三角になることから名がつけました。

センターゾーンでは、かわいいランのなかまのネジバナの花が見られます。

菖蒲池の奥や田んぼエリアでは、又マトラノオの花が咲き始めます。田んぼの畔には、片側だけに花卉があるように見えるミゾカクシの花も見つかります。

田んぼエリアの石垣や、万灯山山頂付近では、オトギリソウの花が見られます。

万灯山へ向かう道には日陰にはヤブミョウガ、日向にはコマツナギの花が咲き、山頂付近ではヒメヤブランの花、山頂には夏なのになぜかアキノタムラソウという名の花が一面に咲きます。

こんな、初夏～夏の花たちを探して、里を散策してみませんか。



又マトラノオ



ネジバナ



ミゾカクシ



オトギリソウ



ヤブミョウガ



コマツナギ



ヒメヤブラン



アキノタムラソウ

## 里の生き物紹介

# 里のトンボたち

里では、様々なトンボたちが見られます。今までに出逢ったトンボの一部ををご紹介します。

### シオカラトンボ



里で一番多く見られるトンボです

左がオス右がメスで、メスは、その色からムギワラトンボと呼ばれます。

トンボのオスは未成熟な時期メスのような色をしているものが多いです。

### オオシオカラトンボ

上がオス、下がメスです。

シオカラトンボより大きく、腹が太く、目はシオカラトンボが青緑色なのに対し、黒っぽく見えます。後翅の付け根と、翅の先が黒いことでも見分けられます。

オスは、腹の先の黒い部分が、シオカラトンボより少なく、青が濃く見え、メスは、シオカラトンボに比べて、黄色と黒のコントラストが強いです。



### ショウジョウトンボ

写真はオスです。

秋にみられる、普通の赤とんぼ(アカネ属のトンボ)の仲間より、大きく、赤みが強く、目まで真っ赤です。

メスは体が黄色です。



### チョウトンボ

これもオスです。

ほかのトンボと違い、チョウのようにひらひらと飛ぶので、名が付けました。

翅はメタリックに光ります。メスは後翅の先の斑紋がありません。

### オニヤンマ

日本最大のトンボで、頭部から腹の先端までが9~11センチほどになります。ぱっと見ただけではオス・メスの区別はつきません。

オスは縄張りを往復飛翔しているので、出逢ったらしばらく待つとまたやってきます。

ヤンマの仲間は、休む時は写真のように地面に垂直にとまります。



## ギンヤンマ

頭部と胸部は黄緑色、腹部が黄褐色、オスは胸部と腹部の境界部分が青いことで見分けられます。腹部の裏側に、銀白色の模様があるため、名がつけました。

昼間はほとんど飛翔しているようで、なかなか撮影できません。写真は産卵のときの様子です。前ページのトンボたちは、メスが単独で水面を腹で叩きながら産卵します。オスは近くにおいて、他のオスが来るのを警戒しています。ギンヤンマはオス・メスがつながったまま、メスが水中の植物の茎の中に産卵します。



## ヤブヤンマ

ギンヤンマよりは少し大きなトンボです。昼間は藪の中で休んでいて、夕方に高所を飛ぶため、あまり目に触れることはありません。

写真はビオトープ上の水溜り付近で産卵をしているメスです。他のトンボと違い、水際から数センチ離れた湿土やコケ、朽木などに産卵します。



## ヤマサナエ



ヤブヤンマに似ていますが、胸部の模様で見分けることができます。トンボの里などでよく見られます。オスは体色が白っぽく、メスは黄色っぽく見えます。写真はメスのようです。

その他にも、カワトンボのなかまや、イトトンボのなかま、赤とんぼの仲間などが見られます。また機会があればご紹介します。

## さとやまニュース

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が解除され、いきものふれあいの里も本格的に再開されました。感染拡大を防ぐため、センターでは様々な工夫がされています。

入り口には、消毒スプレーを設置しました。手指の消毒をお願いします。また、マスクを使用し、3密を防ぐよう心がけましょう。



野外では、熱中症を防ぐため、必ずしもマスクを着用しななければいけない訳ではありませんが、周囲の人とは十分な距離をとるよう心がけて下さい。

窓口には、ビニールカーテンを設置し、金銭の受け渡しは籠を使います。建物内の密を減らすため、トイレは外側からご使用ください。



## 6月の行事紹介



講座「自然を楽しむ俳キング」を服部くららさんを講師に迎え、6月14日(日)に開催しました。

当日は小雨のなか里山を吟行し、ネジバナ、ヒツジグサ、ハンゲショウなどを題材に、皆さんと一緒に俳句を詠みあうことで多くを学びました。

外出を自粛したせいか、のどかな里山の自然な空気をいっぱい吸って、こころ和む安らぎのひと時を過ごし、この上ない喜びにひたりました。

## 7月の行事予定

19日(日)	やさしいスケッチ [材料費：100円]	20名	AM9:30~11:30	石川 利也
--------	---------------------	-----	--------------	-------

◎内 容 ~植物のありのままを水彩ポタニカルアートとしてハガキサイズに描きます。

26日(日)	里山のキノコを学ぼう	30名	AM9:30~11:30	石川まゆみ
--------	------------	-----	--------------	-------

◎内 容 ~不思議なキノコたちを探しに里山へ、部位を観察して名前や特性を学びます。

## 8月の行事予定

2日(日)	水辺のいきもの探そう	50名	AM9:30~11:30	神本 晃
9日(日)	夏休み昆虫教室	50名	AM9:30~11:30	山口 信夫
16日(日)	楽しい工作教室 [材料費：200円]	20名	AM9:30~11:30	山本 俊雄

- ◆ 参加受付は、各講座の3週間前の午前8時30分から先着順で来園及び電話にて受付します。また、申込は本人、もしくはその家族までとします。
- ◆ 天候や少数(6名以下)などによる講座の中止、又は受講内容の変更をする場合があります。
- ◆ 原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。
- ◆ **コロナ禍の状況により講座を「中止」する場合があります。**

### 西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休 日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4]

◆発 行 西尾市環境部 環境保全課